



2016-17年度
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

Weekly Report Niigata



2016-17年度
国際ロータリーのテーマ



2016~17年度
新潟ロータリークラブ会長
宇尾野 隆

新潟 RC5月第 3例会 (2017.5.23) No.3183

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 宇尾野 隆会長挨拶

ロータリーの世界展開

6月10日より米国アトランタ国際大会が開催されます。当クラブは、内田幹事、若槻良宏さん、玉知夫さん、私の4名で参加します。4人共、行きはニューヨーク経由が2人、シカゴ経由、直行便と行きも帰りもバラバラで仲がいいのか悪いのかわかりませんが、昨日新潟西クラブの馬場ガバナー補佐と5人で決起大会を行なったところであります。

国際ロータリーは、現在201カ国と地域、122万人の会員を擁する組織になっています。

本日は、国際ロータリーが1905年にシカゴクラブから出発し、どのように世界展開を行っていたか、その始まりについてお話ししたいと思います。

国際RC連合会は1916年3月にラテン・アメリカでのRC拡大を目指す委員会を設立し、フロリダ州のタンバRCのA・ケストラ他数名の委員を任命しました。

彼らはスペイン語を話せる人たちで、この年、早速キューバでハバナRCの結成に成功しました。これが、英語圏以外での最初のクラブであります。

1918年には、ウルグアイのモンテビデオで南米初のRCが、1920年には、スペインの首都マドリッドでヨーロッパ大陸で初めてのRCが誕生しました。これは、マドリッド出身のA・ケストラの働きによるものです。

第一次世界大戦の終了とともに、RCは世界中に急速に拡大し始めました。アジアでは1919年にマニラRCと、上海RCが、1920年には東京RCが設立され、アフリカでは1921年に南アフリカのヨハネスブルクにRCが発足しました。

パリRCは、第一次世界大戦末期から、連合国関係者・米国大使・赤十字代表などが集まって非公式に開催されていましたが、1921年に公式に認証され、その後、オスロ、コペンハーゲン、アムステルダム、オスランド、チューリッヒ、プラハへと拡大していきました。どんな組織にも急速な発展期にはそれを担う超人的かつ献身的な働きをする人物が登場するものです。

1921年に国際RC連合会は、カナダ人のJ・デビットソンとJ・ラルストンにオーストラリアとニュージーランドへの展開を要請しました。彼らは、4カ月の時間と多額の寄付を行って、メルボルン・シドニー・ウェリントン・オークランドの4都市にRCを設立しました。デビットソンは、日本文化に魅せられていて、帝国陸軍に入隊し日本語を習得していました。また、中国の海賊による殺戮行為から台湾住民を護ったことで、天皇陛下から旭日章を受けています。後に上海の米国総領事としてセオドア・ルーズベルト大統領から賞状を受けています。

1928年に、RI理事会は彼に名誉最高責任者の称号を贈ります。

そして、デビットソンは、妻のリリアンと幼い娘マジョリーを連れて2年半のロータリー拡大の旅に出ます。

1928年8月にモンリオールを出発、汽船、汽車、自動車、ボート、カヌー、時には像に至るまで、当時の交通手段を駆使して世界を回ったようであります。その結果、アテネ、エルサレム、カイロ、ムンバイ（ボンベイ）、デリー、マドラス、コロンボ、ヤンゴン（ラングーン）、クアラルンプール、バタビア、シンガポール、マラッカ、バンコク、香港、など地中海、中近東、インド、東南アジア地域の23都市でRCを設立するという快挙を成し遂げました。

1931年3月、24万キロの旅を終えて一家がバンクーバーに帰ってきたとき、チェスレイ・ペリーをはじめとする大歓声に迎えられ、デビットソンの帰国講演を聞きに集まった2000人の男性の殆どがロータリアンになったと伝えられています。

1920年代は、ロータリーにとって素晴らしい国際的拡大の成果が上がった10年間でありました。当時の先進国には各国の出先機関や商社の出店先などで親善目的の社交クラブが作られており、それがデビットソンの熱意溢れる勧誘によってロータリーを標榜するようになったという背景があります。しかし、彼の並はずれた伝道師としての活躍に対する称賛は、今日までのロータリアンの活動に引き継がれております。

本日は、ロータリーの世界展開について、お話をさせていただきます。

(3) 登坂直美君退会挨拶

(4) 同好会報告

・柴田史郎ゴルフ同好会会長より前橋遠征報告

5月20日土曜日、前橋RCゴルフ部との懇親コンペに参加してきました。前橋との交流懇親コンペは今年で8回目になります。新潟からは8名、前橋からは14名の参加でした。赤城山麓にある赤城ゴルフクラブで行われましたが、グリーンの大きい比較的フラットな広々としたコースです。過去7回のコンペでは全て新潟クラブのメンバーが優勝してきましたが、今回は前橋の都丸さんが優勝ということで、残念ながら8連覇はなりません。ちなみに新潟で最も成績の良かったのは竹田正弘さんの5位入賞でした。夜の懇親会を含め前橋クラブと十分に親交を深めてきました。来年は新潟が当番で紫雲ゴルフクラブにて行う予定です。多数ご参加ください。なお今回の遠征での新潟クラブのお世話は若槻幹事にお願いしました。大変ご苦労さまでした。

・野球同好会大澤 強君 より報告

5月21日(日)快晴・真夏日(本当に暑い日でした)、前橋RCさんとの親睦野球大会が実施されました。新潟のメンバーは野球同好会のメンバーに加えドコモの竹内さんそして、前日急きょ参加が決まった宇尾野会長からも参加頂き、総勢9名にて参加。ひとりの欠場も許されぬ？厳しい条件で試合開始。先攻は当クラブ、1回の表、打者1巡超の猛攻で「7点」を先取。その裏、先発のエース山田キャプテンの好投で「0点」に抑え順調にスタート。今日は前橋さんに「勝てる」「いけるぞ」という雰囲気。しかし、回が進むにつれ、次第に前橋さんの追い上げが・・・当クラブも追加点を上げるが、同点で迎えた最終回、満塁のピンチ。途中交代の抑えのエース町田さんも、さすがに前日の(ゴルフコンペ)疲労からか？ヒットを打たれ、残念ながらさよなら負けとなってしまいました。幸い参加者怪我もなく、前橋さんのメンバー、そして応援に駆けつけていただいた前橋の皆さんと、試合中笑い声が絶えず、楽しく親睦を深めた意義ある一日を過ごすことができました。前橋RCのおもてなしに感謝し、報告とさせていただきます。

(5) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(若杉 武副委員長)

竹田 正弘君

(6) ニコニコボックス紹介

・登坂 直美君 5年間、お世話になりました。ありがとうございました。

・新田 幸壽君 5月14日、白根ハーフマラソン大会に出場しました。GPS ウオッチを観ながら普段の練習

通りのペースで、会長に走っておりましたが、13キロ地点で脚の痙攣でよろめき倒れてしまいました。救護班の真ん前でのことで、二人の看護師につかりコース外に強制連行され、日陰に寝かされ、帽子を取られ、靴も靴下も脱がされて、レース続行を止められてしまいました。ストレッチすればはいれんは収まり又走れる、大丈夫と説明しても聴き入れてもらえず、孫たちの末ゴール地点まで一気に運ばれてしまいました。非常な無念な結果でしたが、次回の完走を記念して“にこにこ”します。

(7) 幹事報告(内田 直紀幹事)

・来週30日の例会は12F「ゴンドリーナ」にて開催致します。

・前橋クラブさんからの土産、カリカリ梅をお帰りの際にお持ち下さい。

(8) 卓話 「フェリス女学院の沿革」

学校法人フェリス女学院 学院長 鈴木 佳秀氏
(新発田ロータリークラブ会員)



(9) 5月23日例会の出席率 75.53%

会員数 99名(出席免除会員 9名)

出席者 71名(出席免除会員 4名を含む)

(2週間前メーク後 86.32%)

6月6日の例会予定

卓話「新潟県経営品質知事賞」

株式会社ウイング 代表取締役 樋山 証一氏

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>